

今回の地域医療研修では、主に総合診療科の初診外来と、救急対応、入院患者の病棟管理をさせていただきました。普段の救急外来では、患者を早く回そうとばかり考えてしまうことで、的確で詳細な問診をとり、そこから鑑別をあげ、必要な検査を考えるという根本的な部分を忘れていました。ここではそういった非常に大切なことを勉強させていただき、さらに毎日のカンファ、そしてその後の指導医の先生との振り返りで知識の定着をさせることができました。迷ったら採血、画像精査といった安直な流れではなく、必要だと思われる項目を詳細に問診し、全身観察をしっかりと行い、鑑別をしぼっていくという流れは、当初は自分にとって不慣れで時間がかかってしまうことが多々ありましたが、段々とスムーズに行うことができるようになり、1ヶ月を通して成長を実感することができました。患者を数多く診ることで得られることもあるとは思いますが、一つ一つの症例をじっくり診ることで、得られることが非常に多いと知ることが出来た今回の研修でもありました。

新城市民病院の総合診療科の先生方は、熱心で知識豊富な方ばかりで、そういった先生方と触れ合う今回の機会は、自分の今後の研修医生活において刺激となるものであり、研修医 2 年目の早い時期に地域医療ローテをすることができ、光栄に思いました。

また、患者の背景にある生活環境、介護力といった部分を重要視することや、病院での看取りの流れなど、豊橋市民病院での研修生活であまり目を向けてこなかった部分を知ることができました。訪問看護や訪問リハビリでは、自宅介護の実際を目の当たりにし、しんしろ助産所見学では少子化に悩まされている現状を知りました。退院後の往診によるフォローは、地域医療ならではの一面だと感じました。ある認知症の男性は高齢の奥さんが一人で自宅介護しており、家の近くにスーパーがないために車を運転して離れたスーパーに行かざるを得ないという現実を見て、最近問題となっている高齢者運転での交通事故問題と重ね合わせてしまいました。こういった現実はこの地域では単なる一例に過ぎず、おそらくその他多くの問題を抱えているように推測されます。患者の社会的背景の把握がいかに大切かを実感しました。

豊橋市民病院に戻っても、この 1 ヶ月で学んだことを普段の診療で生かしていきたいと考えています。総合診療科の先生方、看護師の方々にはとても温かく接していただき、居心地の良さを感じていました。

短い間でしたが、大変貴重な経験をありがとうございました。